

第2学年 社会科（地理的分野） 学習構想案

日 時 令和7年10月16日（木）第2校時
場 所 人吉市立第二中学校 2年1組教室
指導者 教諭 池崎 教人

1 単元構想

| | | | |
|---|--|---|---|
| 単元名 | 第3章 1節「九州地方」（帝国書院P. 170～186） | | |
| 単元の目標 | <p>(1) [知識及び技能] 地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取組を読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境との関わりについて理解することができる。ア（ア）（イ）</p> <p>(2) [思考力、判断力、表現力等] 自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察することができる。イ（ア）</p> <p>(3) [学びに向かう力、人間性等] 九州地方について、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとしている。</p> | | |
| 単元の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | ① 九州地方における地域的特色を理解している。 ② 九州地方における課題を理解している。 ア（ア）（イ） | ① 九州地方における人々の生活の工夫を、自然環境と関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 ② 九州地方における産業の特色を、自然環境と関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現している。イ（ア） | ① より良い社会、持続可能な社会の実現に向けた課題を主体的に追究しようとしている。 |
| 単元終了時の子供の姿（単元のゴールの姿・期待される姿） | | | |
| 様々な対話を通して、自然環境を生かした九州地方の地域的特色について多面的・多角的に考察し、持続可能な地域にするためにどんな取組をしていくと良いのか、根拠に基づいて自分なりの考えをもっている子供。 | | | |
| 単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題） | | 本単元で働かせる見方・考え方 | |
| 豊かな自然環境を活かして、九州地方がこれからも発展していくために、どんな取組や工夫が必要なのだろう。 | | 人々の生活と自然環境には密接な関わりがあることを踏まえ、地理的な特色や課題について多面的・多角的に考察すること。 | |
| 指導計画と評価計画（7時間取扱い 本時6／7） | | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」 |
| 一 | 1 | ○ 九州地方の自然環境の特色について理解し、火山による様々な生活への影響や人々の生活の工夫について考察する。 ○ 単元を通した学習課題を確認する。 | 【知①】（発言・ワークシート） 【思①②】（発言・ワークシート） |
| 二 | 3 | ○ 九州地方における工業の現代までの歴史についてまとめ、自然環境との関わりについて考察する。 ○ 九州地方の自然環境と農業との関連について考察する。 ○ 東アジア全体から見たときに、福岡市の位置が中心地にあることに気づき、位置関係の重要性を理解する。 | ★【知②】（ワークシート） ○ 自然環境を壊してまで工業化を進めてきた歴史から、九州の工業の変遷を理解している。 ★【思①②】（発言・ワークシート） ○ 九州北部、九州南部、沖縄における農業の特色と自然環境との関連について考察している。 ★【知①】（発言・ワークシート） ○ 福岡市の場所が東アジア全体から見たときの中心部にあり、歴史的にも要所であったことを理解している。 |
| 三 | 3 | ○ 魅力あふれる球磨人吉の自然環境を生かすなら、どんな取組（事業）を進めると良いのか、話し合い、構想する。 ○ 構想した取組は本当に球磨人吉の自然環境を生かした取組と言えるか、考えを深め、中間発表をする。【本時】 ○ 構想した取組について発表し合い、お互いに評価し合う。 | ★【思①②】（発言・ワークシート） ○ 地形や気候、位置、環境保護など、本当に球磨人吉の自然環境を生かす取組であるか、多面的・多角的に考察している。 ★【態①】（発言・ワークシート） ○ 球磨人吉の自然環境を生かす取組について、主体的に考えを述べ、今後の生活に生かそうとしている。 |

2 単元における系統及び子供の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)

中学校学習指導要領 社会科編

〔知識及び技能〕

自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこに生ずる課題を理解すること。 ア (イ)

〔思考力、判断力、表現力等〕

自然環境を中核とする事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。イ (ア)

教材・題材の価値

本単元は、学習指導要領の地理的分野における「C 日本の様々な地域」の「(3) 日本の諸地域」にあたる。九州地方は8つの県からなり、自然環境の影響を強く受けながら、人々は生活を営み、産業を発展させてきた。また、地理的な大陸との位置関係から、歴史的にも古くから対外政策の要所となった場所でもある。活火山が身近にあることや、他の地域と比較して多雨であるという自然環境は時には猛威をふるい私たちの生活を脅かすものである一方で、人々が様々な工夫をしながら生活をし、地域の特性を生かした産業を発展させてきたのが九州地方である。九州地方は自分たちが住む身近な地域であり、これからも関わる地域だからこそ、現状の課題を見出しながら、どうしていけば良いかを考えることは、地域の担い手を育て、主権者としての地域への参画を考える適切な学習機会であると考ええる。

本単元における系統

日本の地域的特色

【総合的な学習の時間】
1年 地域調べ 2年 職場体験

日本の諸地域
1)九州地方 2)北海道地方
3)中国・四国地方 4)近畿地方
5)中部地方 6)関東地方 7)東北地方

地域の在り方

【総合的な学習の時間】
3年 中学生みらい議会

子供の実態(単元の目標につながる学びの実態)

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(生徒数31人、単位:人)
本単元に関する実態調査のアンケートより

| 「九州地方」に係る内容 | | | | |
|-----------------------------|---------|----------|------------|----------------|
| 九州地方は他の地方と比べて、いいところだと思いますか? | | 思う 30 | 思わない 1 | |
| 九州地方の魅力は? (複数回答) | 自然環境 30 | 食べ物 21 | 過ごしやすい気候 8 | 農業 11 工業 6 |
| | 商業 7 | 都市部が発展 7 | 観光地 15 | 遊ぶところ 10 人柄 11 |
| 将来、どこに住みたいですか? | 人吉市内 8 | 球磨人吉内 2 | 熊本県内 4 | 九州内 12 九州外 5 |

■本単元の研究の視点に関する意識の状況(生徒数31人、単位:%)

| 「学び」に係る調査内容 | よく | まあまあ | あまり | ない |
|---------------------------------|----|------|-----|----|
| 「なぜ」「どうして」という「問い」をもちながら学習しているか。 | 27 | 64 | 9 | 0 |
| 自分の考えを主体的に友だちや先生に伝えているか。 | 18 | 49 | 30 | 3 |
| 課題を解決するために、友だちと話し合っているか。 | 45 | 46 | 6 | 3 |
| 友だちの意見をもとに自分の考えを見直しているか。 | 36 | 43 | 21 | 0 |

考察(資質・能力に関して)

九州地方に肯定的なイメージをもつ生徒が31人中30人とほぼ全体を占める。中でも自然環境が豊かであることを理由とした生徒が30人と、ほぼ全ての生徒が自然環境に魅力を感じている。また、将来九州内に住もうとする生徒が26人と8割以上いるため、将来暮らす地域をどんな場所にしたいか考えさせ、地域に参画する態度を育てていく必要がある。

(学びに関して)

91%の生徒が「問い」をもちながら授業に参加している。また、友だちと話し合ったり、意見を聞いたりしながら課題解決に向かって学習している生徒が75%以上いる。しかし、課題解決に向けて活動しているが、「自分の考えを主体的に伝える」ということがあまり意識できていないと回答している生徒が目立つ。社会科は内容項目が多く、インプットが大事な教科であるが、考えをより多くアウトプットさせることも意識して授業を進めていく必要がある。

3 指導に当たっての留意点

視点1 主体的な学びを支え、学びの本質へとつながる子供の問いを生み出す導入の工夫

- アンケートの結果からほぼ全ての生徒が「自然が豊かなところ」が九州地方の良さだと考えている。また、84%の生徒が将来九州地方に住みたいと考えている。このアンケート結果を見せ、豊かな自然環境の特色を学んだ上で、これからの九州の人口減や地価の推移、都市部への一極集中の現状、産業や伝統の展望を示し、「九州地方って今のままで発展していくのかな」「魅力あふれる自然環境を生かしながら九州を発展させよう」と単元を貫く学習課題へと導く。単元の終末では班活動において、どんな取組（事業）で地域を発展させていくと良いのか考えることを伝え、これから九州地方について学ぶ意義をもたせる。
- 班の考えを発表し合い、評価し合うことを導入で伝えることで、よりよい取組にしようとする意欲を引き出す。参観していただいた先生方にも評価をしていただくことを伝え、さらにやる気を高めるようにする。

視点2 子供を深い学び・確かな学びへと導くゆさぶり発問や活動の設定

- 地域の方の願いや環境破壊の事例をもとに、自分たちの活動が「本当に球磨人吉の自然環境を生かす取組になっていますか。球磨人吉の地形や気候、位置、環境保全の視点で見て、さらによりよい取組にしてみよう」と問うことで、地形だけでなく気候や位置、自然環境を生かしながら自然環境を守る視点を加える。

4 本時の学習

- (1) 目標 球磨人吉の自然環境を生かした取組について、様々な地理的条件に着目したり、暮らしている人々の思いに触れたりしながら考えを深める活動を通して、多面的・多角的に考察することができる。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動 (◆発問、◇予想される子供の発言) | ○指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等) |
|----|-----|--|---|
| 導入 | 5分 | 1 課題をつかむ。 【学習課題】魅力あふれる球磨人吉の自然環境を生かすなら、どんな取組（事業）を進めるとよいのだろう。 | |
| | | ◆今日は中間発表ですが、お互いのグループの取組を伝え合って、評価します。今日は参観していただく方々にも評価を付けてもらいます。どうしたら、星5になるかな。 ◇取組をもっと考えて、よくしたいです。 | 【視点1について】 ○アプリのレビューを見せ、お互いの取組を5つ星で評価し合うことを伝える。さらに、見に来ていただいた先生方にも評価してもらうことも伝えることで、よりよい取組にしようする意欲を高める。 |
| 展開 | 40分 | 【めあて】 星5を目指して、自分たちの取組をよりよくし、お互いに評価し合おう。 | |
| | | 2 各グループの取組について、プレ発表会を行う。 3 課題の解決に向けて活動する。 (1) 職場体験でお世話になった方々の願いをもとに、さらにグループの考えを深めていく。 ゆさぶり発問や活動 ◆今考えている取組は、本当に球磨人吉の自然環境を生かした取組になっていますか。 ◇観光を通して、人吉の魅力を感じてもらうだけではなく、自然環境がよくなるようにしたい。 ◇球磨人吉は位置的に宮崎や鹿児島とも近いから、それを生かせないかな。 ◇中国からならば、福岡より人吉の方が近いぞ。 ◇環境を壊さないようにするには、どうしたら良いだろう。 ◇地元の人たちが楽しめる場所も大事だ。 (2) グループ間で中間発表を行い、評価の視点を参考にして、お互いに評価し合う。 | ○これまで考えてきた取組について、近くの班同士でプレ発表会を行う。 【視点2について】 ○「環境保全」の視点を入れ、より持続可能な取組にするために、職場体験でお世話になった方々の球磨人吉の未来への願いを紹介する。また、オーバーツーリズムの状況や発展のために環境破壊につながった例を挙げ、資料を配付する。 【具体的評価規準】思①② ○ 地形や気候、位置、環境保護など、本当に球磨人吉の自然環境を生かす取組であるか、多面的・多角的に考察している。 (方法：発言、ワークシート) 【到達していない子供への手立て】 ○グループ内の対話を増やし、気軽に聞ける雰囲気をつくる。 |
| 終末 | 5分 | 4 振り返りをする。 【まとめ】(例) 1班 評価(4) 理由 球磨人吉が魅力的な場所になって盛り上がりそうだけど、自然環境をあまり守れていないと思ったから。 | ○「に・ち・ゆ・う」の視点で振り返りをする。 |

【前提：授業の終末に、つぶやいてほしい子供の言葉】

- ・私は将来球磨人吉に残るつもりなので、自分が住む地域を魅力あふれる場所にしたい。
- ・豊かな自然環境を守りながら球磨人吉を発展させるためにどんな取組をしたらよいのか、これからも考えていきたい。

【板書計画】

単元を貫く学習課題 豊かな自然環境を生かして、九州地方がこれからも発展していくために、
どんな取組や工夫が必要なのだろう。

学習課題 魅力あふれる球磨人吉の自然環境を生かすなら、どんな取組（事業）を進めると
よいのだろう。

本時の流れ

- ・ プレ発表会（各班2分）
- ・ 取組をより良くする！
- ・ 中間発表会（各班2分）
- ・ **振り返り**

まとめ

5段階で評価し合おう（例）

- ・ 評価（ 4 ）
- ・ 理由 球磨人吉が魅力的な
場所になって盛り上がり
そうだけど、自然環
境をあまり守れていな
いと思ったから。

評価の視点

- ①球磨人吉の自然環境を生か
した取組になっているか。
- ②球磨人吉の豊かな自然環境
を守れるものであるか。

【ICT活用計画】

- ・ 単元全体で学習支援アプリを活用して学習を進める。
- ・ 本時の発表準備や発表部分でもタブレット PC を活用する。
- ・ 資料をいつでも見られるようにデータを学習支援アプリで配付しておく。
- ・ 意見を集約したい時や、資料について全体で共有したり、確認したりする際に電子黒板を活用する。